



ウインテスト株式会社

2016年7月期 上期 決算説明会資料



ウインテストは27年度横浜みらい企業に認定されました。

アジェンダ

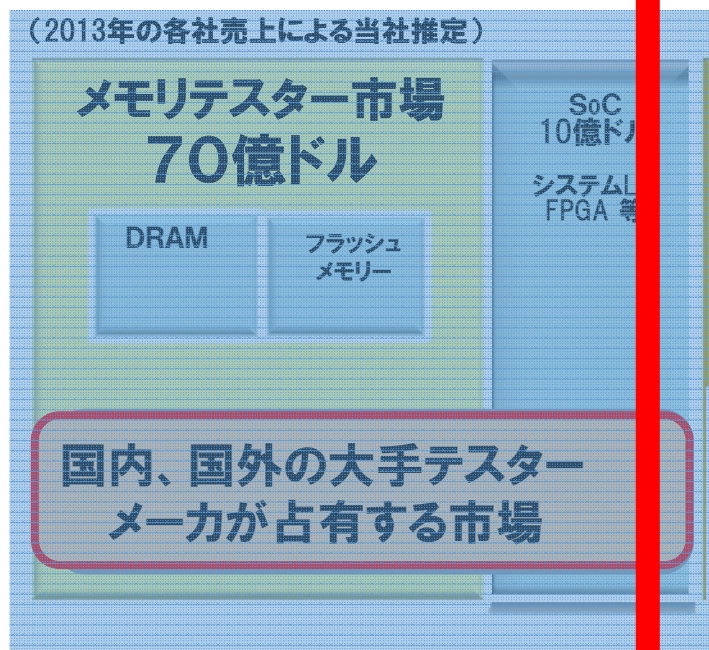
- ◆ **当社の事業領域とポジション**
- ◆ **2016年7月上期決算と通期見通し**
- ◆ **今後の経営戦略**

当社の事業領域と ポジション

半導体検査市場と当社の事業領域

- ・LCDドライバーIC
- ・パワー半導体
- ・イメージセンサー

液晶ディスプレイ
代替エネルギー産業やエアコンなど
カメラ、携帯、車載、医療、防犯市場



・新規事業の開始

ロジック
IC検査
装置

リニアミ
ックスパ
ワー
IC検査
装置

新規事業

CCD/CMOS イメージセンサー

液晶ドライバー検査装置

当社の市場領域 15億ドル

当社の業界におけるポジション

- **独自の検査技術を20年以上にわたり開発**

LCDドライバIC検査（**今期最も注力するエリア**）

（スマートフォンやテレビなど液晶ディスプレイを駆動するためのICです）

研究開発 → 量産導入評価 → 量産導入（市場シェア数%に成長）

イメージセンサ、液晶・有機ELディスプレイ検査

一眼レフ用や衛星搭載用センサーなどハイエンド

中国上海の**イメージセンサ開発機関**へ納入、将来的には量産化

ボリュームゾーンのスマホ用検査装置でアジア市場へ参入

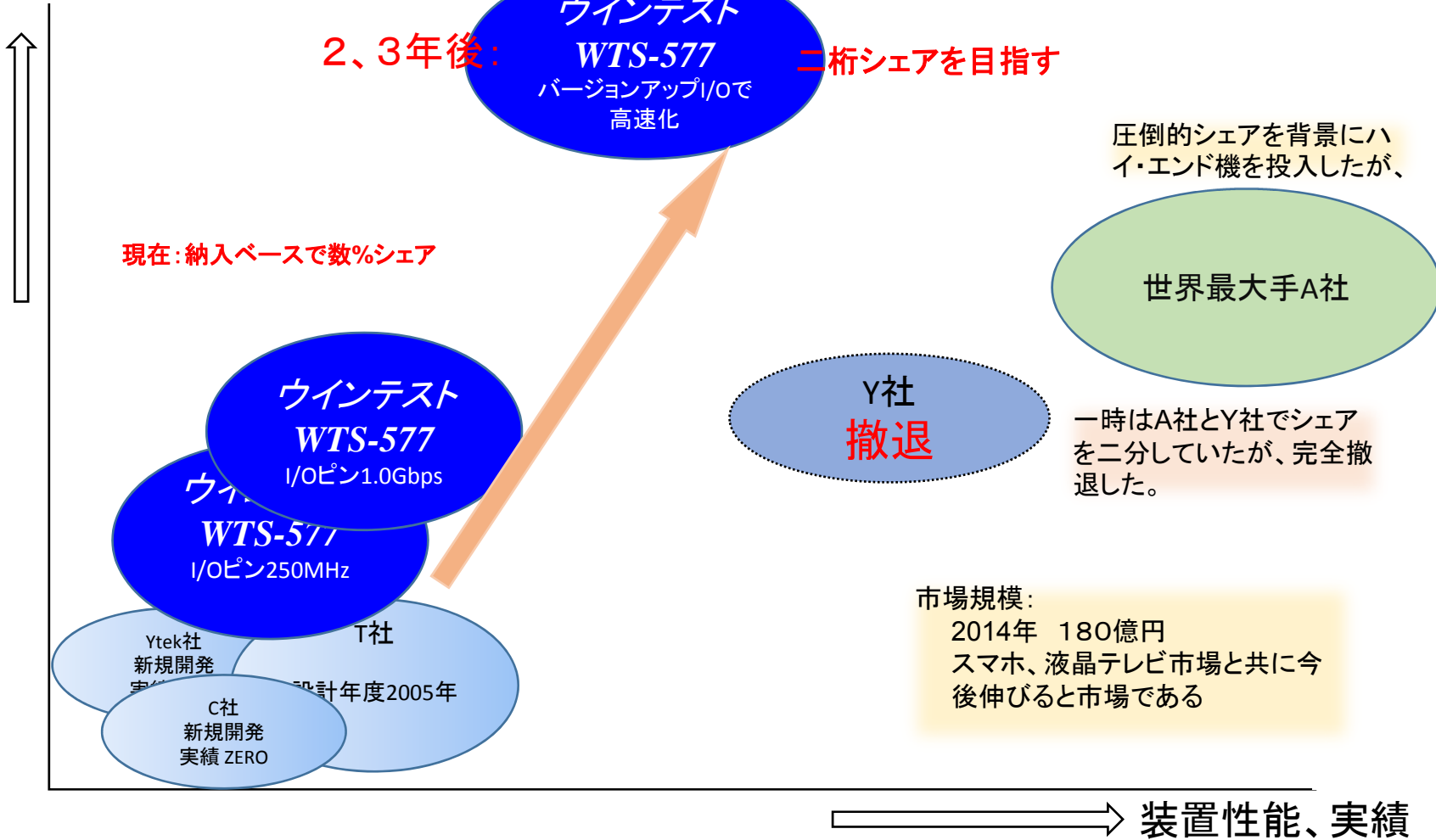
ミックストシグナルIC（ロジアナ混在）、パワーIC

世界のマーケットは伸長も、国内顧客の**設備投資停滞**

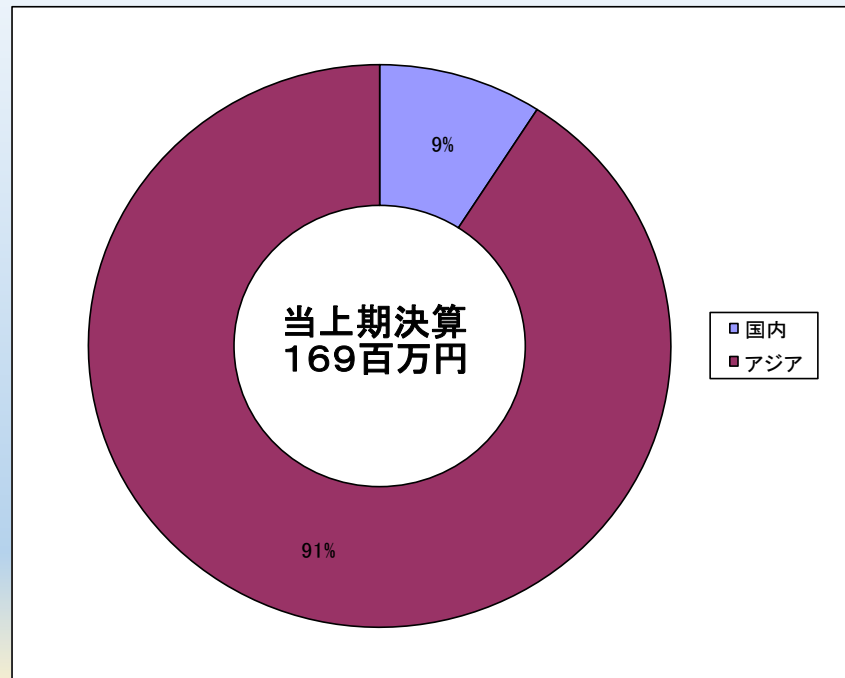
業務提携先を開拓し、そしてあらためて海外顧客の開拓を行う

LCDドライバにおける当社のポジション

コストパフォーマンス



当社製品の主な販売先



主な顧客

【アジア】^(代理店) Probeleader社

☛ 大手LCDドライバメーカー

【日本】

☛ 大手カメラメーカー

☛ 大手医療関連メーカー

☛ 宇宙開発関連メーカー

2016年7月期 上期 決算と通期見通し

2016年7月期 上期決算ハイライト

■ 売上・利益とも当初計画を下回る

【要因】

- ① 既存顧客の仕様変更対応に時間を要した
- ② 中国の景気減速を懸念して設備投資計画が順延された

■ 自己資本比率は77.4%と高水準維持

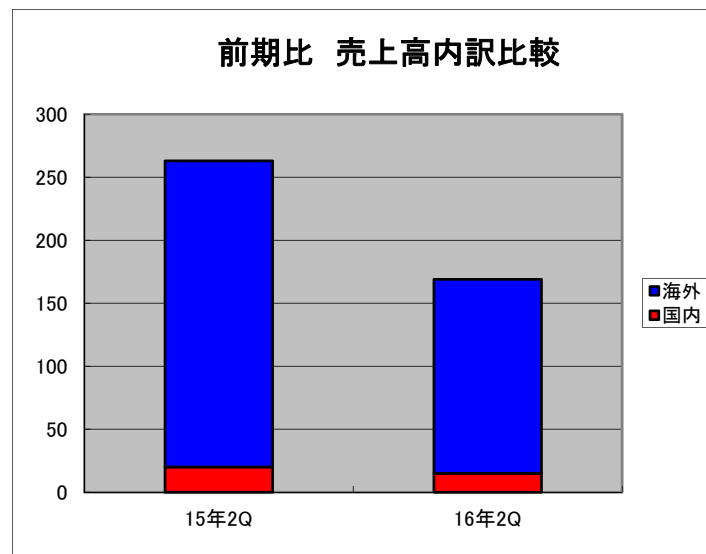
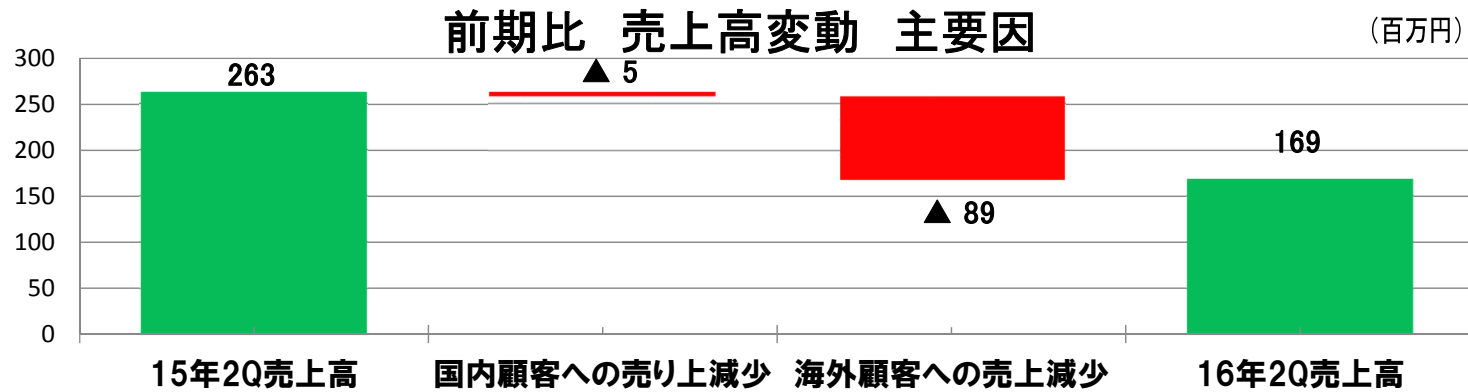
- ☞ 財務基準安定化のため、増資等により資本の充実を図っており、自己資本比率は77.4%
- ☞ 現金預金残は5億円弱をキープしており、今後の運転資金・研究開発のための必要資金を十分に確保

2016年7月期 上期 決算サマリ

(百万円)

| | 15/上期 | 16/ 上期 | 増減額 | 増減率 | 主な増減理由 | 当初計画 |
|--------|-------|--------|-----|--------|--------------------------|-------|
| 売上高 | 263 | 169 | △93 | △35.5% | 見込んでた受注・売上が未達となり、売上が伸び悩む | 554 |
| 売上総利益 | 89 | 57 | △31 | △35.5% | 売上減少による利益減少 | 197 |
| 売上総利益率 | 34.1% | 34.1% | — | — | | 35.6% |
| 販管費 | 168 | 155 | △12 | △7.5% | 試験研究費、人件費等を引締め | 169 |
| 営業利益 | △ 78 | △ 97 | △19 | — | 経費削減により利益減少幅圧縮 | 27 |
| 経常利益 | △ 69 | △ 100 | △31 | — | 前期、県の補助金10百万円受領 | 25 |
| 四半期純利益 | △ 69 | △ 100 | △31 | — | | 25 |

売上高の変動分析

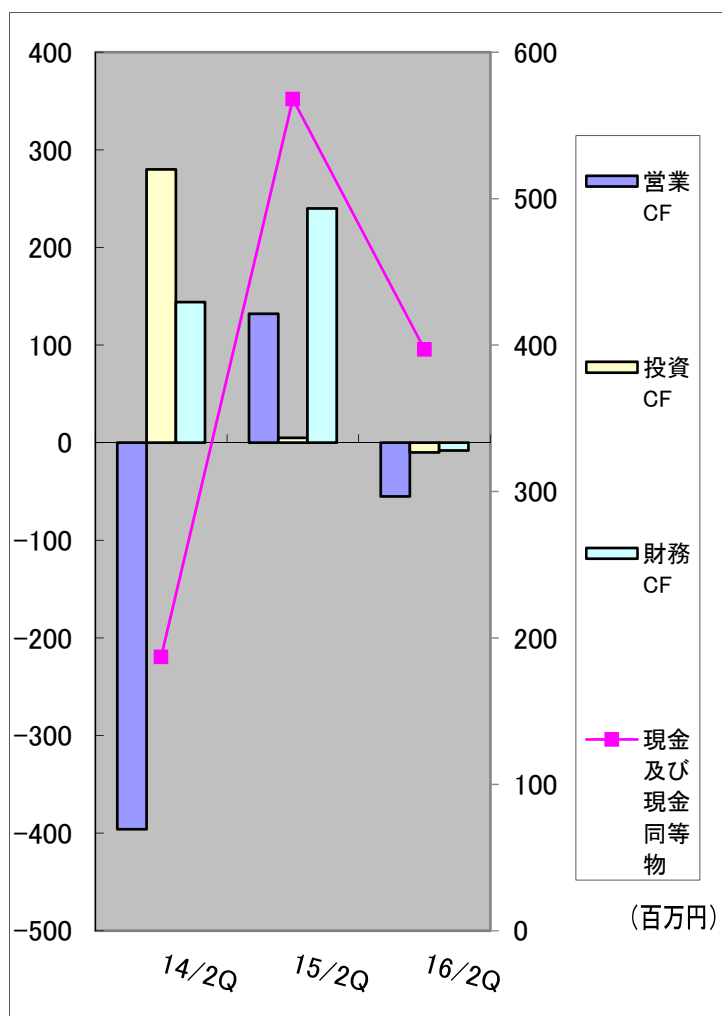


2016年7月期 上期貸借対照表サマリ

(百万円)

| | | 前年度末 | 16/上期 | 増減額 | 主な増減理由 |
|----------|------------|-------|-------|------|------------------|
| 資産内訳 | 現金及び預金 | 573 | 497 | △ 76 | 在庫減少したが純損失計上と売掛増 |
| | 受取手形及び売掛金 | 26 | 88 | 61 | 直近売上で増加 |
| | 仕掛品 | 177 | 152 | △ 24 | 海外受注先向けに納品進む |
| | その他流動資産 | 84 | 39 | △ 44 | 在庫圧縮で48百万円減 |
| | 固定資産 | 47 | 50 | 3 | 長期前払費用が8百万円増 |
| 資産合計 | | 909 | 828 | △ 80 | |
| 負債・純資産内訳 | 買掛金 | 0.2 | 2 | 1 | |
| | 1年以内返済長期借入 | 88 | 88 | 0 | |
| | その他流動負債 | 20 | 46 | 26 | 保守サポートで25百万円増 |
| | 固定負債 | 56 | 47 | △ 9 | 返済で減少 |
| | 純資産 | 744 | 644 | △ 99 | 純損失で減少 |
| 負債・純資産合計 | | 909 | 828 | △ 80 | |
| 自己資本比率 | | 81.5% | 77.4% | | 高い比率を維持 |

2016年7月期 上期CF計算書サマリ



| | 15/2Q | 16/2Q |
|-----------------|-------|-------|
| 営業CF | 132 | △56 |
| 投資CF | 5 | △10 |
| 財務CF | 240 | △8 |
| 現金・現金同等物 | *568 | *397 |

キャッシュ・フロー推移

| | |
|--------------|------|
| ・営業CF | |
| 税前純損失 | △100 |
| 売上債権増 | △61 |
| 棚卸資産減 | 73 |
| ・投資CF | |
| 長期前払費用増(製造権) | △10 |
| ・財務CF | |
| 新株予約権行使 | 1 |
| 長期借入金返済 | △9 |

* 上記現金・現金同等物には定期預金1億円を含んでいません

2016年7月期 通期事業環境見通し

● 年初から円高基調、日経平均大幅安、国内投資様子見、海外設備投資活況続く

| | | | | | | | |
|-------------|---|--|----------|----------------------------------|-----------|--|---------|
| 外部環境 | <p>・カメラ 出荷台数3割減 カメラ大手4社ミラーレスなど高付加価値品で改善努力中、医療、監視カメラなど新分野に活路求めるも、デジタルカメラの減速大。</p> <p>・台湾、中国 16年/17年の新興市場のスマホ需要は高級機に需要の変化あり。 全体は、数量増、当社注力のLCDドライバの生産はTV向けもフル稼働へ</p> | | | | | | |
| | 個別環境 | <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">イメージセンサー</td> <td>◆モバイル、監視向け、車載用で顕著に伸びるが、デジカメ用は激減中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">アナログパワーIC</td> <td>◆パワー半導体、車載、新エネルギー向け緩やかに上昇 ・自動ブレーキ等、車載部品が牽引、省エネ、代替エネルギー関連追い風</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">液晶ドライバー</td> <td>◆中国市場景気足踏みで市場鈍化も、途上国向け数量増加、 ・TV用LCDドライバマーケットに参入、当社受注増加見込み</td> </tr> </table> | イメージセンサー | ◆モバイル、監視向け、車載用で顕著に伸びるが、デジカメ用は激減中 | アナログパワーIC | ◆パワー半導体、車載、新エネルギー向け緩やかに上昇 ・自動ブレーキ等、車載部品が牽引、省エネ、代替エネルギー関連追い風 | 液晶ドライバー |
| イメージセンサー | ◆モバイル、監視向け、車載用で顕著に伸びるが、デジカメ用は激減中 | | | | | | |
| アナログパワーIC | ◆パワー半導体、車載、新エネルギー向け緩やかに上昇 ・自動ブレーキ等、車載部品が牽引、省エネ、代替エネルギー関連追い風 | | | | | | |
| 液晶ドライバー | ◆中国市場景気足踏みで市場鈍化も、途上国向け数量増加、 ・TV用LCDドライバマーケットに参入、当社受注増加見込み | | | | | | |

通期予想の精査に向けて

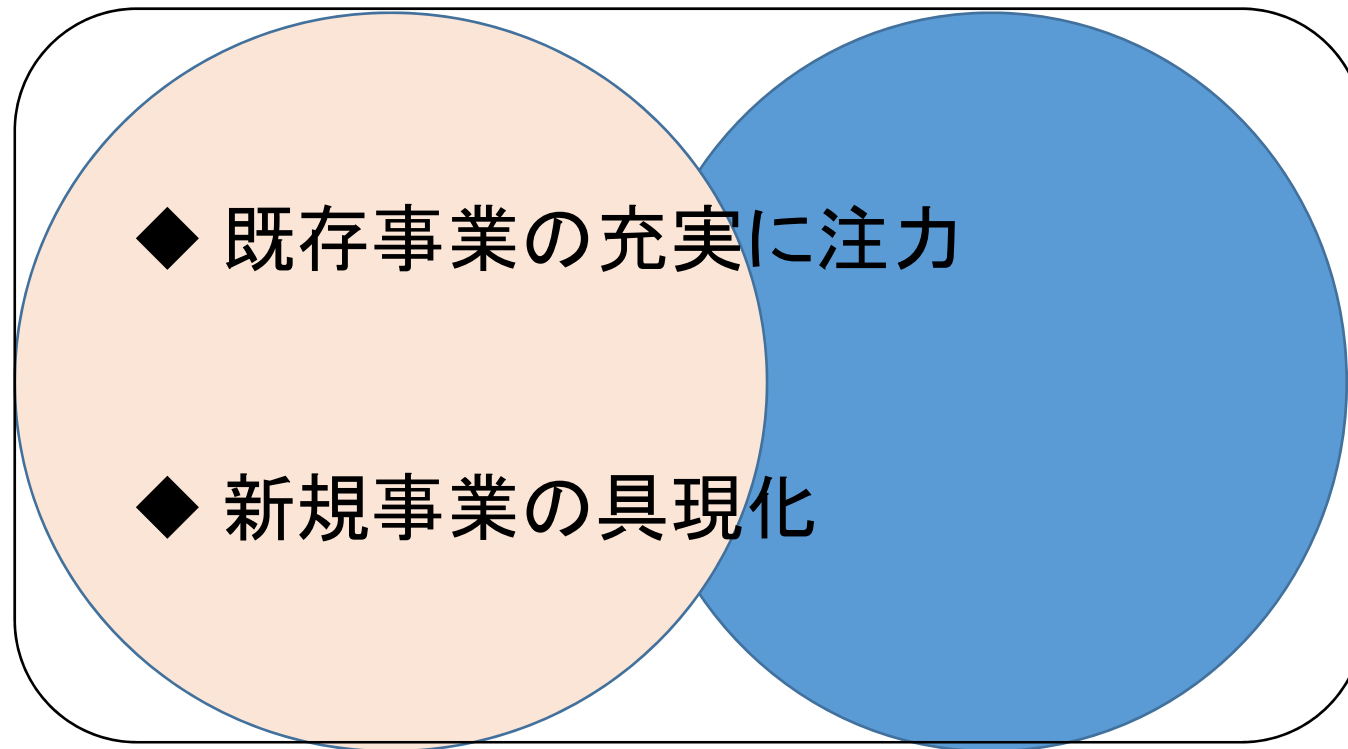
- 精査に時間を要している主な理由
 - 2月に新年を迎えた台湾・中国が当社の主要マーケット
 - マーケットの変革期になったLCDドライバが主たる売上
 - 今後の製品、顧客新年度の予算執行状況、動向の把握
 - 売上計上時期が期末前後となる見込みで、期中にどれだけの台数売上となるか不確定

2016年7月期 通期業績予想

当社の通期業績予想数値につきましては、
先ほどの要因から未定とさせて頂き、
改めて通期業績予想値の修正をお知らせします。

今後の経営計画

今後の取り組み概要



既存事業の充実への経営方針

既存ビジネス

- **台湾、中国市場に的を絞った戦略を押し進める**
 - **海外営業強化の為の集中と選択**
 - LCDドライバ検査装置
 - CMOSイメージセンサ検査装置
 - **LCDドライバー分野へ開発資源の集中**
 - 検査スピード高速化
 - 4K対応とソフトウェア拡充

営業強化の為の集中と選択

◆国内

- ハイエンドのイメージセンサ分野のシェア維持
- パワーデバイス検査は既存企業と協業し、たて直し

◆海外マーケット戦略

- LCDドライバ検査装置を主軸
- ローエンド・イメージセンサの新たなマーケット開拓
- 台湾、中国出身の当社社員による直接営業、採用の促進

【中国方面】

- デザイン&テストハウスの新規開拓を継続

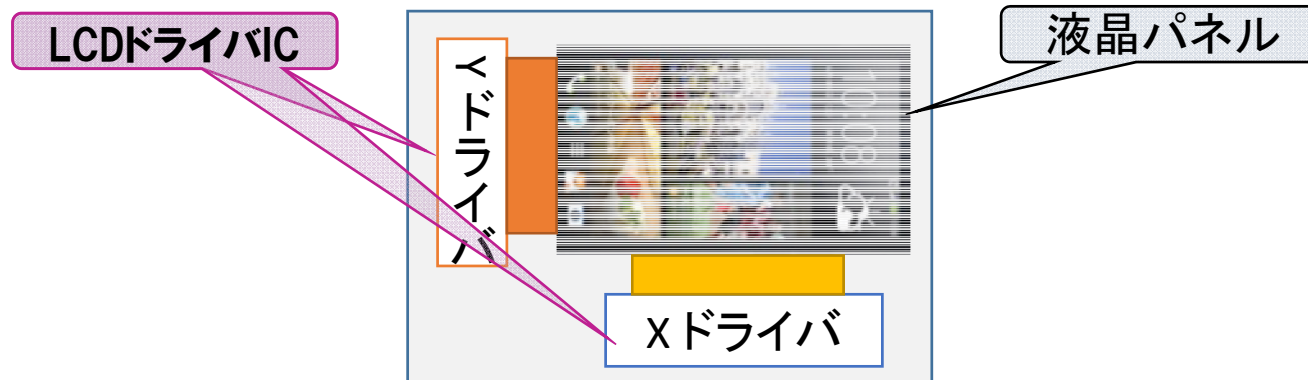
【台湾】

- 複数デザインハウスを同時攻略できる体制を整備

既存ビジネスの集中と選択である LCDドライバとは？

放送や伝送の映像信号を変換して、

液晶画面にきれいな画像や文字を**表示させるIC**



X(横方向)及びY(縦方向)ドライバと示したのがLCDドライバーICです。

この多ピンIC(髪の毛の太さの約1/6の間隔で千本以上並ぶ)を検査する装置、それが当社のWTS-577です。

髪の毛の太さ平均80 μ m

新規事業の具現化

新規事業

新しい種

- 慶應大学などや横浜企業支援財団と連携や支援によるもの
- BtoBからBtoC、自社技術の産業用のハイエンドから民生用へ展開するもの

大学や財団と連携、支援などの新規事業

◆研究開発中のもの

○ 自重補償機構方式マニピュレータ

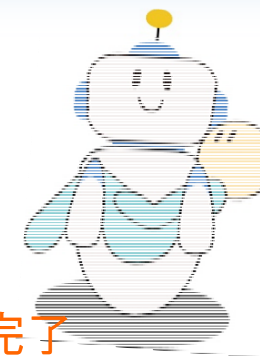
小型試作実証実験モデルの製作、実証、データ収集完了
主要部の実物大モデルによる実証実験へ

目指す成果：

電気モータを使わないため、消エネと安全安心を確保
人や重量物の移動を指一本で操作

○ 分析・計測装置(調査検討中)

イメーセンサの画像、色むら処理技術を応用して、
ターゲット：
分子計測、解析装置への応用



免責事項

- 本資料に記載された意見、予測やビジョンなどは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
- 本資料の内容は事前の通知なく変更されることがあります。また、本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成したものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。
- 様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。
- この将来数値に全面的に依拠して投資判断を行うことは差し控えていただきますようお願い申し上げます。

ウインテスト株式会社

TEL:045-317-7888